



6月議会が終わり、参議院議員選挙戦突入。梅雨空も吹き飛ばす「暑い」「熱い」日々でした。みずおか俊一さんへのご支援ありがとうございました。私たちの願いを託せる人だと信じて一緒に活動してきただけに跳び上がって喜ぶたい心境です。

これからは、みずおかさんとの連携をはかりながら、皆さんの声を国政に伝えるべく、私自身よりいっそう努力してまいります。



神戸中央メーデー



女性集会



女性部キャラバン

## 活動報告(抜粋)

- 4/5 民主党政経セミナー
- 4/8・15 総務常任委員会
- 4/10 みずおか俊一をはげます女性集会
- 4/21 豊中市ほづみ保育園視察
- 4/24 花と緑のフェスタ
- 4/30 宝塚地区メーデー
- 5/1 神戸中央メーデー
- 5/8 民主党幹事会
- 5/12・13 臨時議会
- 5/16 社会を明るくする運動
- 5/31 手をつなぐ育成会総会
- 6/5・12 女性キャラバン
- 6/7・8・10・11 6月議会一般質問
- 6/15 文教厚生常任委員会
- 6/22 本会議
- 6/30 人権審議会

## 今後の予定

- 7月 「子育て・教育・高齢化社会問題調査特別委員会」
- 8月 文教厚生常任委員会視察(川崎・武蔵野・長岡市)
- 9月 7~24 9月定例市議会
- 9月 25 宝塚市制50周年式典

# 議会報告 北野さと子の一般質問及び答弁 ～抜粋～

## 1. 市長の「発言」問題について

「あほ」「ぼけ」「ごみ」「虫けら」等の言葉は、人権を侵害するものであると考える。これらの言葉と人権について、見解を。

「人権」という価値観を土台に据えて、互いの対等な立場を尊重しながら、自由な発言を保障する議会運営を要望する。

市長答弁  
決して特定の方を指してつぶやいたものでなく、全くの私の独り言である。

市長答弁  
今後とも議員各位の活動を尊重し、良好な関係の構築に努力していきたい。

## 2. 学校園の施設について

仁川小学校体育館の雨水利用施設の浸水対応と今後について

安全性に問題のある校舎(結露・雨漏等)の修繕や修理計画は。

今年度着手予定長尾小学校の改築基本設計について、具体的な取り組みの内容。

新築する場合、児童増予測ぎりぎりの校舎ではなく、余裕のある設計・計画を進めていただきたい。



教育長職務代行者答弁  
直ちにつまった管部分の改善を行った。今後当該設備の点検及び管理について学校側と協議していく。

廊下については、滑りにくい床材へ改修をしている。雨漏りについては、直ちに対応をする。今後とも危険箇所等の把握に努め、安全で快適な学校施設の整備に努めたい。

改築工事期間中の在校生の安全と学習環境の確保に向けて、保護者と教職員で組織された改築委員会と市との間で協議を行ってきた。

社会や経済状況の急激な変化のため、児童・生徒数の正確な予測が困難になっている。一層情報収集と研究を重ね、的確な児童・生徒数の推計に努めたい。

## 3. 「教育を受ける権利」とそれを充足すべき責務について

介助員や子ども支援サポーターの配置希望校や現状について。

支援が必要な子ども達の学習権を保障する取り組みのさらなる拡大・充実を。

教育長職務代行者答弁  
介助員は年々増員し対応している。支援サポーターについても増員が不可欠と判断している。

市教育委員会としては、今後も特別な配慮を必要とする子ども達可

解放学級終了後の学力保障や人権学習のあり方について。

奨学金給付制度が貸付制度に移行しても、他の奨学金との併給認可を。深刻な不況の中で家庭の収入は激減。それでも子どもに教育を受けさせたい保護者の願いを受け止めてほしい。

能な限り主体的に活動できるよう、学校からのニーズをふまえ、適切な支援に努めていきたい。

宝塚市人権教育推進委員会の意見具申を尊重しながら、豊かな人権感覚を育て、一人一人の学力保障、進路保障の充実を目指す。

## 4. 「食に関する指導」について



食に関する指導

栄養教諭創設の制度を教育委員会としてはどうとらえているのか。

食生活を取り巻く社会環境・家庭環境の変化により、食の指導はますます必要になってきている。教育現場における栄養教諭の重要性を認識し、定数増を県へ働きかけていただきたい。

教育長職務代行者答弁  
栄養教諭に関する情報の収集に努めるとともに、県教育委員会と密接に連携しながら対応していきたい。

## 文教厚生常任委員会の報告 (2004/6/15)

### ゆきとどいた教育 最善の教育環境を！

「豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書」の審議が行われ、全員一致で採択されました。ホッ・・・

義務教育費国庫負担制度は、義務教育に係る最低保障としての国の責務です。ところが、政府は地方分権を理由に、国庫負担制度の見直し・廃止を検討しています。

この変更が行われると、個々の都道府県の財政力に左右されることになり、義務教育の地域間格差や教育水準の低下、保護者の負担増を招くことにつながります。

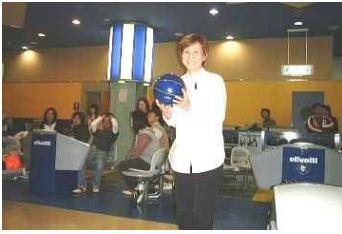


5/9 わかば奨学金募金活動

**義務教育があぶない！**

## 活動トピックス

新採用歓迎ボウリング大会。ゲストとして始球式の一球を投げさせてもらいました。



若々しい教職員の仲間たち。私の娘と同学年のSさんTさんも。つまり、「我が子の年代の先生たち」だと思えば、たまたま愛おしく感じられますし、同時に心配にもなってきます。

今、教育現場の抱える課題は多様で難しいものばかりです。経験の浅い教職員には厳しい試練が待ちかまえていることでしょう。

しかし、現実の壁にぶつかったとき、エネルギーを失いかけたとき、決して「一人で抱え込まず」周りの人たちと話し、考え合っていてほしいと思います。

そして、夢・理想・未来を語り、描き合うことを、今日の仲間とともに続けていってほしい。

私もずっとその仲間でありたいと思います。



がいはん星  
里帰りライブ

教え子の  
がんばりに  
刺激を受けまし  
た

## やったあ！ みずおかさん当選



みず  
おか  
夫妻  
と



## 編集後記

市政レポート第5号、2巡目。

私の活動を通して、少しでも市政を身近に感じていただきたいとレポートを作ってきました。これからも充実した内容にしていけるよう考えていきたいと思っていますので、皆様のご意見をぜひお聞かせください。よろしくお願ひします。

発行人 北野 さと子

連絡先 〒 665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>